マルチクライアント方式

サマリー

調 査 報 告 書

［２０２１年版　ＭＦＰマーケット総覧］

業界変革期を迎えた 複合機・プリンタ市場の 将来性分析

＝ポストコロナに向けた各社の変革戦略や協業戦略を徹底分析＝

富士フイルムビジネスイノベーション
「Revoria Press PC1120」
（A3+カラープロダクションプリンタ、カラー・モノクロとも 120ppm）

米・リコー「M C240FW 」
（A4 カラーMFP、カラー・モノクロとも 24ppm）

キヤノン「imageRUNNER ADVANCE DX C5870F」
（A3 カラーMFP、カラー・モノクロとも 70ppm）

中国・華為(HUAWEI)「PixLab B5」
（A4 モノクロ MFP、30ppm）

２０２１年１２月

日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

Ⅰ．調査テーマ

［２０２１年版　ＭＦＰマーケット総覧］
『業界変革期を迎えた複合機・プリンタ市場の将来性分析』
＝ポストコロナに向けた各社の変革戦略や協業戦略を徹底分析＝

Ⅱ．調査主旨

2020 年 1 月に中国・武漢で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染爆発が発生してから、間もなく丸 2 年を経過しようとしている。いち早く COVID-19 の封じ込めに成功した中国に続き、日本や欧米の先進諸国でも新規感染者は一時期と比較すると減少しており、世界的に社会経済活動を正常化する段階に突入している。

経済活動の再開に伴い、**プリンティング業界における主要各社の業績は回復基調**となっている。複写機・複合機（MFP）やプロダクションプリンタ（PP）の本体出荷は底入れし、プリントボリューム（PV）も想定以上に回復してきた。また、レーザープリンタ市場においてはテレワーク用のローエンドプリンタ需要が急拡大するなど想定外の追い風も吹いている。

ただ、投資筋の業界への見方は相変わらず厳しい。これは、**世界中の多くの企業がコロナ後もオフィスワークとテレワークを併用するハイブリッドなワークスタイルに移行**していくことで、本体販売や PV がコロナ前のレベルに回復することが難しいとみられているからである。また、**半導体など各種の部材不足**により、生産計画の度重なる見直しが続いていることも懸念材料となっている。さらに、**中国勢の追い上げ**も激しさを増している。中国政府の推し進める国産化政策を背景に、奔图（Pantum）はローエンド市場でシェアを急拡大させ、A3MFP の自社エンジン開発もスタートさせる。世界有数の通信機器メーカーである華為(HUAWEI)もレーザープリンタ市場への参入を果たした。

2022 年からの数年は業界の今後の方向性が定まる分水嶺になる。本体販売や PV はどの程度回復していくのか。様々な形での業界再編や構造改革も不可避であろう。リコーはカンパニー制を導入し、製造と販売を分け、他社製品を自由に販売し、自社製品の他社への供給を拡大する。ゼロックスとの合弁を解消した富士フイルムは、富士フイルムビジネスイノベーションとしてゼロックス以外への OEM を拡大するほか、欧州や南米市場には自社ブランドで参入する。キヤノンと HP の関係も新たな段階に進む可能性がある。業界全体としては、**デジタルトランスフォーメーション（DX）をはじめとする変革を戦略の中心**に置かざるを得ないが、部材調達力や中国市場での生き残り策、他社との様々なコラボレーションなど企業としての総合力がより重要となる。総じて言えることは、**今後１～2 年で 5 年分の変化を起こすようなメーカーが生き残る**資格を得るだろうということだ。

「2021 年版ＭＦＰマーケット総覧」は、シリーズ第 31 回目の刊行となります。今回のレポートでは、各市場におけるインクジェット機との競合状況や今後の業界再編を占う上で重要となるとみられる各社の協業関係を重点的に調査・検証していく予定です。本レポートをご利用いただく関係各位におかれましては、事業再発展の一助となることを望みます。

ハードウェアの調査対象スピードレンジ

①　PC（１～１０ｐｐｍ）
②　セグメント１（１１～２０）
③　セグメント２（２１～３０）
④　セグメント３（３１～４０）
⑤　セグメント４（４１～６９）
⑥　セグメント５（７０～９０）
⑦　セグメント６（９１～）

カラーはモノクロのスピードで分類。

調査対象地域分類

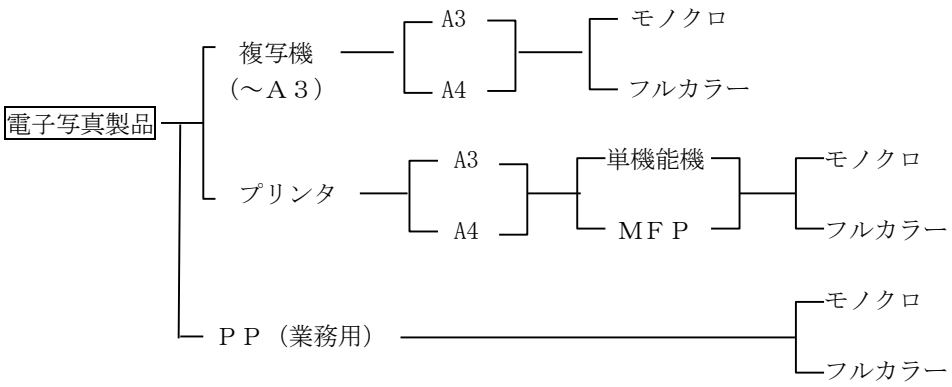
日本
北米
欧州
中国
その他

ハードウェアの出荷台数の調査範囲

１．エンジンメーカーとしての出荷台数
　１）エンジンメーカーとしての出荷台数（自社ブランド／OEM 供給）
　２）OEM を受けている分の出荷台数

２．主要プリンタベンダー別出荷台数

Ⅲ．調査対象品目



Ⅳ．調査対象先

１．主要メーカー（ベンダー）

１）**複写機メーカー・ベンダー**

キヤノン、リコー、富士フイルムビジネスイノベーション、ゼロックスコーポレーション、シャープ、東芝テック、京セラドキュメントソリューションズ、コニカミノルタ、HP（HPPK）、その他

２）**プリンタ（レーザー／ＬＥＤ）メーカー・ベンダー**

キヤノン、HP(HPPK)、富士フイルムビジネスイノベーション、ゼロックスコーポレーション、コニカミノルタ、OKI、ブラザー工業、京セラドキュメントソリューションズ、リコー、レックスマーク、セイコーエプソン、NEC、富士通、シンド(韓国)、パンタム(中国)、レノボ(中国)、デリ（中国）、Avision（台湾）、TOEC（中国）、CUMTENN（中国）

３）**ＰＰ（プロ向け）メーカー・ベンダー**

キヤノン（キヤノンプロダクションプリンティング）、リコー、富士フイルムビジネスイノベーション、ゼロックスコーポレーション、コニカミノルタ、HP、他

２．関連メーカー・ベンダー

１）ＯＥＭ先メーカー　２）主要ディーラー（ベンダー）　３）部品・材料メーカー　４）その他関連取引先

Ⅴ．調査対象期間及び対象範囲

１．対象期間：２０１９年～２０２０年実績、２０２１年見込～２０２４年予測

２．調査対象範囲：対象範囲は日本を含め全世界（北米、欧州、中国、その他）

Ⅵ．調査方法

１．取材対象メーカーへの直接訪問面接調査　２．公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査

３．弊社に蓄積されているデータの活用

Ⅶ．調査形態、調査期間、他

１．調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。

２．調査期間：２０２１年１１月～２０２１年１２月

３．調査報告書刊行日：**２０２１年１２月２２日**

４．提出報告書：Ａ４判簡易製本／ＰＤＦ

５．１社当りの参加費用：**￥６６０，０００－**（消費税込み）（フルレポート）

１）総合分析編／ＰＰＣ（複写機・複合機）市場編　￥３８５，０００－

２）オフィス向けプリンタ市場編／プロダクションプリンタ市場編　￥３８５，０００－

※機種一覧のみデジタルデータ

６．調査担当者：山本幸男、吉田晃介、針生正史

（Tel:03-3831-9201、Fax:03-3831-9204、
E-mail：yamamoto@datasupply.jp/yoshida@datasupply.jp/hariu@datasupply.jp）
（**ホームページ**：http//:www.datasupply.jp/）

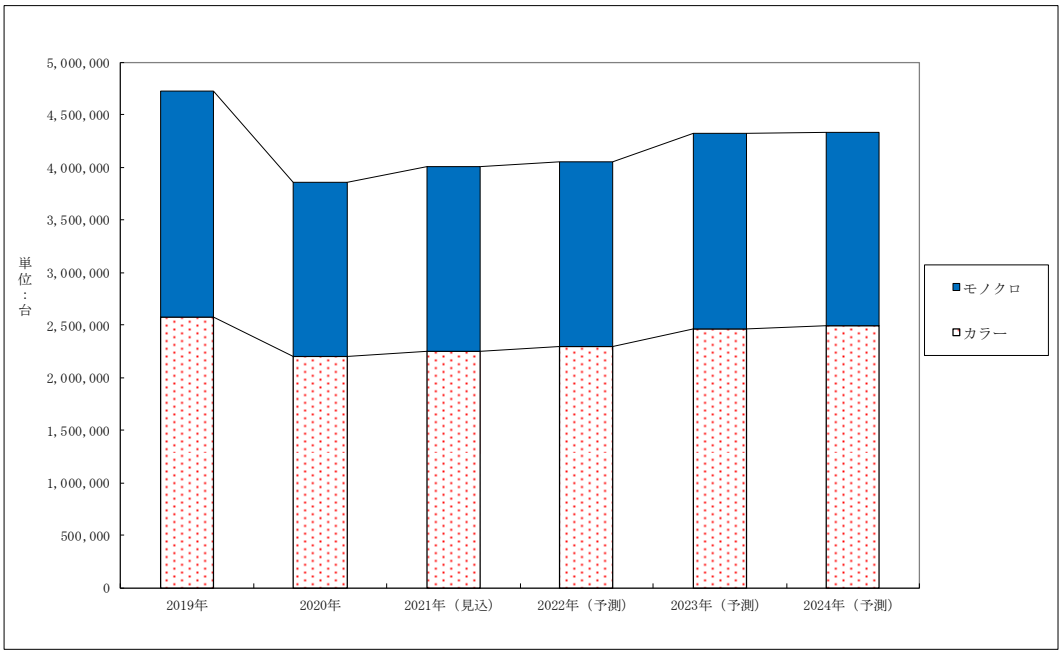
サンプルページ

「PPC 市場編」及び「オフィス向けプリンタ市場編」より抜粋

［B．ＰＰＣ市場編］

B-１．集計編

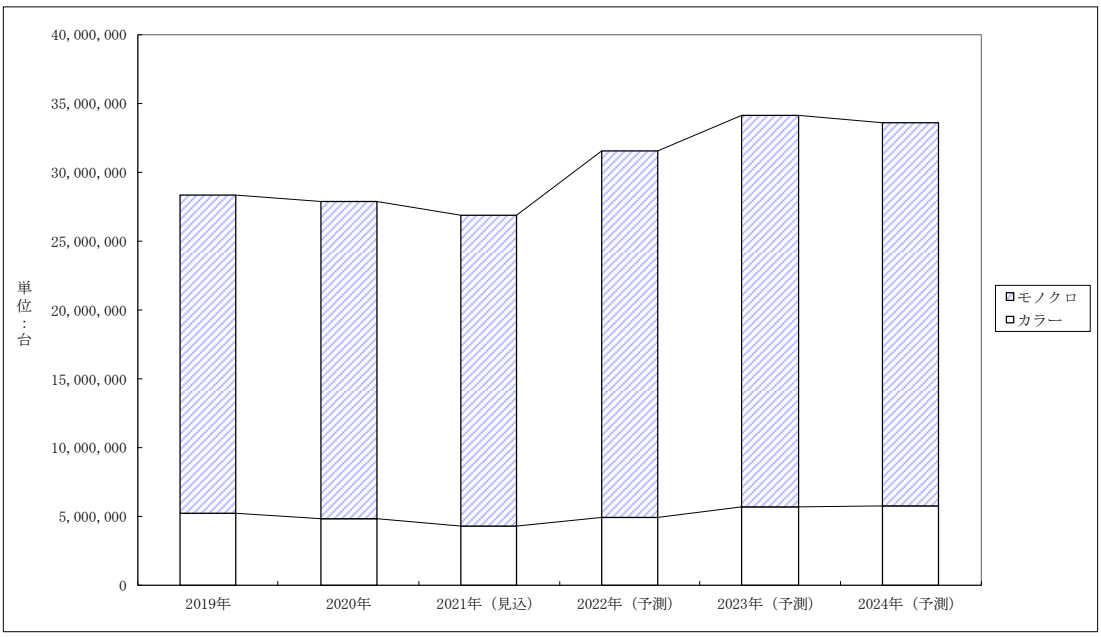
１．全体の出荷台数



［C．オフィス向けプリンタ市場編］

C－１．集計編

１．全体の出荷台数



DATA SUPPLY INC.

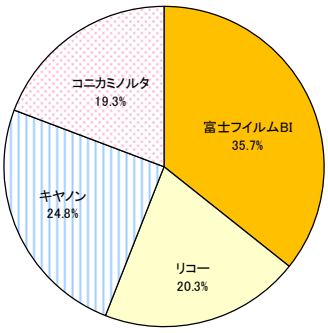
サンプルページ

「総合分析編」及び「プロダクションプリンティング市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

3）クラス別シェア（2020年実績）（連続紙を除く）

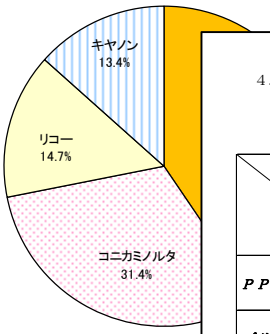
（1）ライトプロダクション



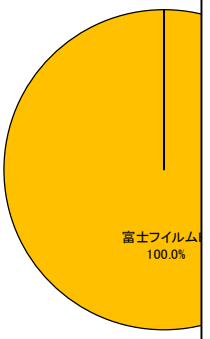
単位：台

社名	
富士フイルムBI	
リコー	
キヤノン	
コニカミノルタ	
合計	

（2）ミッドプロダクション



（3）ヘビープロダクション



4．国内外の生産台数（比率）の変化

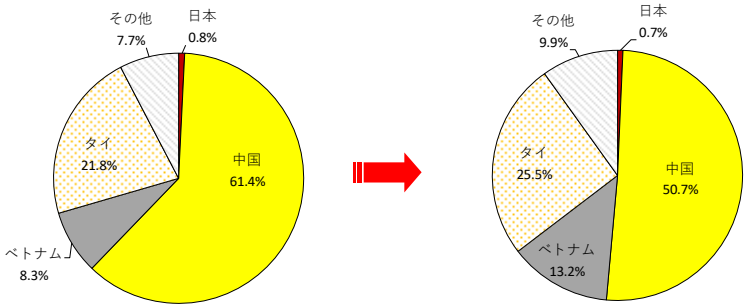
4－1．全体

単位（%）

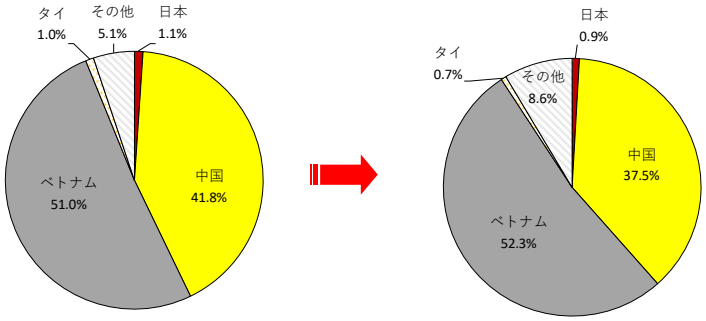
	2020年						2024年（予測）					
	日本	海外				計	日本	海外				計
		中国	ベトナム	タイ	その他			中国	ベトナム	タイ	その他	
PPC	0.8	61.8	8.4	22.0	7.7	100.7	0.7	50.7	13.2	25.5	9.9	100.0
プリンタ	1.1	41.8	51.0	1.0	5.1	100.0	0.9	37.5	52.3	0.7	8.6	100.0

※現在は中国が生産の中心だが、タイ、ベトナムなどでの生産が増加傾向。

5－2．PPC（全体）



5－3．プリンタ（全体）



サンプルページ

「総合分析編」と「オフィス向けプリンタ市場編」より抜粋

１０．ネットワーク対応／モバイル対応の比率

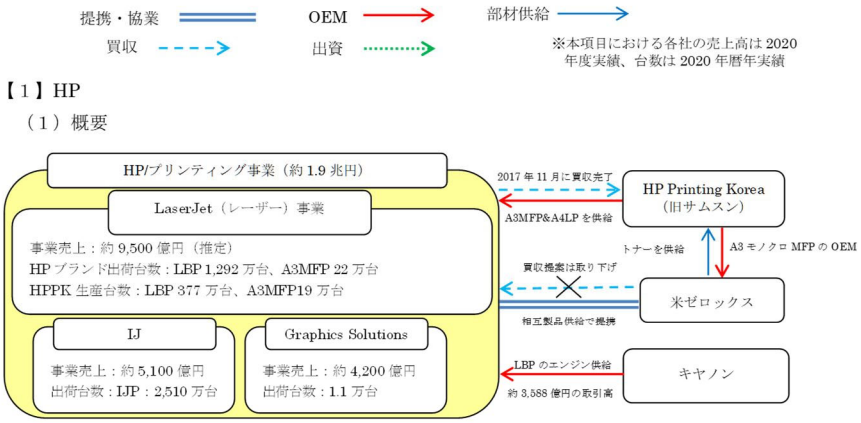
	ネットワーク	モバイル
モノクロ	100%	100%
カラー	100%	100%

ネットワーク、モバイルともにほぼ 100%対応している。
HL（プリンタ単能機）も全てネットワーク対応している。

１１．主要 OEM
１）OEM 関係
（１）OEM 先

	OEM 先
モノクロ	Lenovo 「LJ22 「LJ24 「LJ40 「M720 「M721 「M342 「M740 「M760 「M745 「M763
	富士フ 「DocuP (A4/17. 「DocuP (A4/17. 「DocuP (A4/19. 「DocuP (A4/19.
	NEC（
	東芝テ 「e-STU (A4/16.
	リコー 「SP 23 「P200 (A4/20
	コニカ 「bizhu 「bizhu 「bizhu

２．複写機・プリンタメーカーの買収・協業・OEM 相関図



【１】HP
（１）概要

（２）製品レンジ別の開発戦略（自社開発か外部購入か）

〈赤字：自社開発　青字：外部購入（　）内は出力速度＝ppm〉

直近	B&W		Color	
	A3	A4	A3	A4
高速	投入なし	投入なし	投入なし	投入なし
中速	HPPK (23-60)	Canon (18-71) HPPK (40)	HPPK (22-60)	Canon (16-56)
低速	投入なし	HPPK (20)	投入なし	HPPK (4)

※A3は一部キヤノンエンジンもあり

HP のレーザービジネスの売上規模は 2020 年実績で約 9,500 億円（弊社推定）。コロナ影響によりオフィス向け中高速機などの出荷が大幅に落ち込み、消耗品も減少した。

HP は同ビジネスにおいて HP Printing Korea（以下 HPPK）のエンジン比率を拡大していくとみられていたが、A4 ビジネスではキヤノンエンジンを中心に置く戦略に変更はなく、今後、キヤノンとのパートナーシップはさらに拡大していく可能性もある。また、同社はゼロックスと製品の相互供給契約を締結し、2021 年よりゼロックスから HPPK に対するトナーの供給がスタートしたが、HPPK からゼロックスに対する A3 カラーMFP 供給プロジェクトは頓挫したとみられている。

DATA SUPPLY INC.

サンプルページ

「オフィス向けプリンタ市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

２２．OEM 供給関係変動図

１）モノクロプリンタ

供給先 / OEM 元	2020 年	2021 年
キヤノン	キヤノン	キヤノン
	HP	HP
ブラザー工業	ブラザー工業	ブラザー工業
	Lenovo	Lenovo
	富士フイルム BI	富士フイルム BI
	東芝テック	東芝テック
	NEC	NEC
	コニカミノルタ	コニカミノルタ
HP (HP Printing Korea)		
	(米)	
	I	
OKI		
富士フイルム ビジネス イノベーション （旧富士ゼロックス）	富士	
	(米)	
	セイコ	
	I	
京セラ ドキュメント ソリューションズ	京	
	セイコ	
	理	
	オリ	
リコー		
	I	
レックスマーク (Ninestar Group)	レッ	
	富士	
	P	
	(米)	
	シ	
	東	

４）中国

（１）中国市場のモノクロプリンタ

①１～１０ｐｐｍ

出荷なし

②１１～２０ｐｐｍ

単位：台

	2019年	%	2020年	%	2021年（見込）	%	2022年（予測）	%	2023年（予測）	%	2024年（予測）	%
キヤノン												
ブラザー工業												
HP (HP Printing Korea)												
OKI												
富士フイルム ビジネスイノベーション												
京セラドキュメント ソリューションズ												
リコー												
コニカミノルタ												
Lexmark (Ninestar)												
Pantum (Ninestar)												
Lenovo												
Deli												
Avision												
TOEC												
CUMTENN												
総合計												
%												

③２１～３０ｐｐｍ

単位：台

	2019年	%	2020年	%	2021年（見込）	%	2022年（予測）	%	2023年（予測）	%	2024年（予測）	%
キヤノン												
ブラザー工業												
HP (HP Printing Korea)												
OKI												
富士フイルム ビジネスイノベーション												
京セラドキュメント ソリューションズ												
リコー												
コニカミノルタ												
Lexmark (Ninestar)												
Pantum (Ninestar)												
Lenovo												
Deli												
Avision												
TOEC												
CUMTENN												
総合計												
%												

④３１～４０ｐｐｍ

単位：台

	2019年	%	2020年	%	2021年（見込）	%	2022年（予測）	%	2023年（予測）	%	2024年（予測）	%
キヤノン												
ブラザー工業												
HP (HP Printing Korea)												
OKI												
富士フイルム ビジネスイノベーション												
京セラドキュメント ソリューションズ												
リコー												
コニカミノルタ												
Lexmark (Ninestar)												
Pantum (Ninestar)												
Lenovo												
Deli												
Avision												
TOEC												
CUMTENN												
総合計												
%												

サンプルページ

DATA SUPPLY INC.

「オフィス向けプリンタ市場編」と
「プロダクションプリンティング市場編」より抜粋

※実際のレポートには実数やコメントが入っています。

［２］コニカミノルタ

１．カラー機の機種別国内外出荷状況

１）出荷台数

単位:台

年		2019年	%	2020年	%	2021年(見込)	%	2022年(予測)	%	2023年(予測)	%	2024年(予測)	%
Accurio PressC73hc/C83hc	国内												
	海外												
	合計												
(71ppm/81ppm)(ライト)	対前年比												
Accurio Print C750i/C750i Flux	国内												
Accurio Press C759	海外												
	合計												
(C70ppm/M75ppm)(ライト)	対前年比												
Accurio Press C4070/C4080	国内												
	海外												
	合計												
(71/81ppm)(ライト)	対前年比												
Accurio Press C6085/C6100/C7100	国内												
	海外												
	合計												
(85～110ppm)(ミッド)	対前年比												
Accurio Press C12000/C14000	国内												
	海外												
	合計												
(120ppm/140ppm)(ミッド)	対前年比												
合計	国内												
	海外												
	合計												
	対前年比												

２）出荷金額

年		
Accurio PressC73hc/C83hc	国内	
	海外	
	合計	
(71ppm/81ppm)(ライト)	対前年比	
Accurio Print C750i/C750i Flux	国内	
	海外	
	合計	
(C70ppm/M75ppm)(ライト)	対前年比	
Accurio Press C4070/C4080	国内	
	海外	
	合計	
(71/81ppm)(ライト)	対前年比	
Accurio Press C6085/C6100/C7100	国内	
	海外	
	合計	
(85～110ppm)(ミッド)	対前年比	
Accurio Press C12000/C14000	国内	
	海外	
	合計	
(120ppm/140ppm)(ミッド)	対前年比	
合計	国内	
	海外	
	合計	
	対前年比	

① 71ppm機と81ppm機の「C4070/C4080」

② ミッドの最速の140ppm機を2020年春に

③ ハードとノンハードの比率はカラー・モノ

８．MFP/単機能別カラープリンタの出荷台数

１）国内外の出荷台数

単位：台

		2019年	%	2020年	%	2021年(見込)	%	2022年(予測)	%	2023年(予測)	%	2024年(予測)	%
A４ 合計	ＭＦＰ												
	単機能												
	対前年比												
A３ 合計	ＭＦＰ												
	単機能												
	対前年比												
総合計	ＭＦＰ												
	対前年比												
	単機能												
	対前年比												
	対前年比												

２）国内の出荷台数

単位：台

		2019年	%	2020年	%	2021年(見込)	%	2022年(予測)	%	2023年(予測)	%	2024年(予測)	%
A４ 合計	ＭＦＰ												
	単機能												
	対前年比												
A３ 合計	ＭＦＰ												
	単機能												
	対前年比												
総合計	ＭＦＰ												
	対前年比												
	単機能												
	対前年比												
	対前年比												

３）海外の出荷台数

単位：台

		2019年	%	2020年	%	2021年(見込)	%	2022年(予測)	%	2023年(予測)	%	2024年(予測)	%
A４ 合計	ＭＦＰ												
	単機能												
	対前年比												
A３ 合計	ＭＦＰ												
	単機能												
	対前年比												
総合計	ＭＦＰ												
	対前年比												
	単機能												
	対前年比												
	対前年比												

《目　次》

[A．総合分析編]

１．全世界のジャンル別出荷動向（２０１９年～２０２４年）……1
１－１．電子写真方式の全体市場……1
１－２．オフィス向け（出荷台数／出荷金額／全体概況）……2
１－３．プロ／業務向け（出荷台数／出荷金額）……5
２．複写機・プリンタメーカーの買収・協業・OEM 相関図……6
HP／キヤノン／リコー／富士フイルム／ゼロックス／コニカミノルタ／京セラドキュメントソリューションズ／シャープ／東芝テック／ブラザー工業／OKI／Ninestar(Lexmark&Pantum)／Lenovo／Deli／Avision ／TOEC／CUMTENN
３．セグメント別オフィス向け PPC/プリンタの出荷台数比較……２１
モノクロ／カラー
４．国内外の生産台数（比率）の変化……２３
全体／PPC（MFP）（全体）／プリンタ（全体）
５．ハードとノンハードの売上高比率(現状)……２４
６．インクジェット製品の出荷動向……２５
７．中国市場における中国製プリンタ及び中古複写機の出荷動向……２７

[B．ＰＰＣ市場編]

Ｂ－１．集計編……２９
１．全体の出荷台数……２９
２．全体の出荷金額……３０
３．地域別の出荷台数……３１
４．生産台数……３２
５．A3 と A4 の出荷台数比較……３４
６．モノクロ PPC のスピード別出荷状況……３８
７．カラーPPC のスピード別出荷状況……３９
８．PPC 全体（モノクロ＋カラー）のメーカー別出荷台数／出荷金額……４０
９．モノクロ PPC 全体のメーカー別出荷台数／出荷金額……４５
全世界／日本／北米／欧州／中国／その他地域……４５
１０．カラーPPC のメーカー別出荷台数／出荷金額……５０
全世界／日本／北米／欧州／中国／その他地域……５０
１１．出力スピード別メーカー別全体市場（台数）……５５
モノクロ PPC／カラーPPC
１２．出力スピード別メーカー別個別市場（台数）……５９
１）日本（モノクロ PPC／カラーPPC）
２）北米（モノクロ PPC／カラーPPC）
３）欧州（モノクロ PPC／カラーPPC）
４）中国（モノクロ PPC／カラーPPC）
５）その他の地域（モノクロ PPC／カラーPPC）
１３．出力サイズ別メーカー別個別市場（台数）……７９
全体／日本／北米／欧州／中国／その他地域
１４．ネットワーク対応／モバイル対応……８５
１５．OEM 供給関係変動図……８６
モノクロ／カラー

１６．自社ブランド（自社エンジン、OEM 受け）と OEM 供給の販売台数 ……８８
モノクロ／カラー
１７．ブランド別出荷台数（2020 年） ……９２
１８．出力ボリュームの変化 ……９３
１９．商品開発動向（今後の新機種、海外での開発、環境対応、インクジェット機の影響）／２０．新型コロナウイルスによる影響と 2022 年以降の対策／２１．ＬＥＤ機の全体比率と今後の動向／２２．販売ルート（直、販社、ディーラー、量販、通販、ネット）／２３．ハードとノンハードの売上高比率（現状と今後）

Ｂ－２．個別メーカー編 ……９５
調査項目
全体の出荷台数／全体の出荷金額／地域別の出荷台数／生産台数／全 PPC の出荷台数･出荷金額／モノクロ PPC(国内外）の出荷台数･出荷金額／カラーPPC（国内外）出荷台数･出荷金額／スピードセグメント別出荷台数／機種別の出荷台数一覧／ネットワーク対応・モバイル対応／主要 OEM／自社ブランド（自社エンジン、OEM 受）と OEM 供給の販売台数／出力ボリュームの変化／商品開発動向（2021 年の新機種、今後の新機種、海外での開発、環境対応、インクジェット機の影響）／新型コロナウイルスの影響と 2022 年以降の対策/LED 機の出荷台数と今後の動向／販売ルート（直、販社、ディーラー、量販、通販、ネット）／ハードとノンハードの売上高比率(現状と今後)
キヤノン／リコー／富士フイルムビジネスイノベーション／米ゼロックス／シャープ／京セラドキュメントソリューションズ／東芝テック／コニカミノルタ／HP (HP Printing Korea)／その他：村田機械／シンド／Avision／Pantum

[Ｃ．オフィス向けプリンタ市場編]

Ｃ－１．集計編 ……２５９
１．全体の出荷台数 ……２５９
２．全体の出荷金額 ……２６０
３．地域別の出荷台数 ……２６１
４．生産台数 ……２６２
５．A3 と A4 の出荷台数比較 ……２６４
６．モノクロプリンタのスピード別出荷状況 ……２６８
７．カラープリンタのスピード別出荷状況 ……２７０
８．メーカー別出荷台数／出荷金額 ……２７２
１）全体 ……２７２
２）モノクロプリンタ ……２７４
３）カラープリンタ ……２７６
４）メーカー別概況 ……２７８
９．ブランド別出荷台数（2020 年） ……２７９
１０．メーカー別種類別日本市場（台数） ……２８０
１１．メーカー別種類別北米市場（台数） ……２８２
１２．メーカー別種類別欧州市場（台数） ……２８４
１３．メーカー別種類別中国市場（台数） ……２８６
１４．メーカー別種類別その他地域市場（台数） ……２８８
１５．出力スピード別メーカー別全体市場（台数） ……２９０
１６．出力スピード別メーカー別地域別市場（台数） ……２９５
１７．出力サイズ別プリンタ（モノクロ＋カラー、国内外）出荷台数 ……３１０
１８．出力サイズ別モノクロプリンタ（国内外）出荷台数 ……３１５
１９．出力サイズ別カラープリンタ（国内外）出荷台数 ……３１７
２０．出力サイズ別メーカー別個別市場（台数） ……３１９
２１．ネットワーク対応／モバイル対応 ……３２９

２２．OEM 供給関係変動図 ……３３０
モノクロプリンタ／カラープリンタ
２３．自社ブランド（自社エンジン、OEM 受け）と OEM 供給の販売台数 ……３３２
モノクロ／カラー
２４．出力ボリュームの変化 ……３３６
２５．商品開発動向（今後の新機種、海外での開発、環境対応、インクジェット機の影響） ……３３６
２６．ＬＥＤ機の全体比率と今後の動向 ……３３６
２７．販売ルート（直、販社、ディーラー、量販、通販、ネット） ……３３６
２８．ハードとノンハードの売り上高比率(現状と今後) ……３３７

Ｃ－２．個別メーカー編 ……３３９

＜共通調査項目＞

全体の出荷台数／全体の出荷金額／地域別の出荷台数／生産台数／モノクロプリンタ（国内外）の出荷台数･出荷金額／カラープリンタ（国内外）の出荷台数･出荷金額／スピードレンジ別出荷台数／MFP・単機能別モノクロ・カラープリンタの出荷台数／機種別の出荷台数一覧／ネットワーク対応・モバイル対応／主要 OEM／自社ブランド（自社エンジン、OEM 受）と OEM 供給の販売台数／出力ボリュームの変化／商品開発動向（2021 年の新機種、今後の新機種、海外での開発、環境対応、インクジェット機の影響）／新型コロナウイルスの影響と 2022 年以降の対策/LED 機の出荷台数と今後の動向／販売ルート（直、販社、ディーラー、量販、通販、ネット）／ハードとノンハードの売上高比率(現状と今後)

キヤノン／ブラザー工業／HP（HP Printing Korea）／OKI／富士フイルムビジネスイノベーション／京セラドキュメントソリューションズ／リコー／コニカミノルタ／Ninestar：Lexmark／Pantum／Lenovo／Deli／Avision／TOEC／CUMTENN／その他：華為（Huawei）／鴻海精密工業（Foxconn）／大連中盈科技（Dalian Zonewin Technology）／泰金寶（Cal-Comp）／航天信息（Asino）／天津合成材料工業研究所（TSMRI）

[Ｄ．プロダクションプリンティング市場編]

Ｄ－１．全体 ……６１９
１．出荷台数 ……６１９
２．出荷金額 ……６２０
３．日本メーカーのクラス別カラープロダクション機の出荷台数（2019 年～2024 年） ……６２１
全体／メーカー別全体出荷台数／クラス別シェア(2020 年実績)
４．プロダクション機の出荷台数シェア（カンプを除く） ……６２４
カラー（2020 年実績）／モノクロ（2020 年実績）

Ｄ－２．個別動向 ……６２６
富士フイルムビジネスイノベーション／コニカミノルタ／リコー／キヤノン

[Ｅ．スピード別機種一覧](デジタルデータのみ)

Ｅ－１．PPC 機種一覧 ……６４１
Ｅ－２．レーザー／LED プリンタ機種一覧 ……７１７
Ｅ－３．プロダクションプリンタ機種一覧 ……７９２

株式会社データ･サプライ刊行物案内／申込書

刊行日・価格の変更があります

住所：〒１１０－０００５　東京都台東区上野６－６－１　舶来堂ビル５Ｆ
ＴＥＬ：０３（３８３１）９２０１、ＦＡＸ：０３（３８３１）９２０４
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
ホームページ：http//:www.datasupply.jp/

● 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。

● 申込はメール、ＦＡＸ、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日　2021/2022 年　　月　　日

御社名

御住所　〒

御電話番号

御担当部署　　御担当者

	日本語版		英語版		部数		金額
	価格（消費税込）	刊行日	価格（消費税別）	刊行日			
《定期刊行物》							
＊「月刊電子写真総合情報」 ー電子写真に関する総合的なレポートー（1986 年～） 年間 1,200～1,300 頁	年会費:￥770,000 月会費:￥66,000	毎月 20 日	$7,000 $600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年	
i4inkjet　[Directions]（年 6 回発行、年 300 頁～） ※インクジェット関連の特許技術レポート	―	―	￥605,000～ （税込）	7/27～	英		
《２０２１年刊行予定物》							
＊2021 年版[感光体マーケット総覧]（286 頁） 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥550,000	2/25	$5,200	4/26	日 英		
新レポート　＊2021 年版『出力機器関連機材ハンドブック』(282 頁)	¥220,000	3/24	―	―			
＊2021 年版[ローラー系部品マーケット総覧]（630 頁） 『コストと品質が命綱となったローラー系部品業界の未来』	¥440,000	4/22	$5,000	注文対応	日 英		
＊2021 年版[トナーマーケット総覧]（572 頁） 『働き方の多様化で変化が加速するトナー市場の最新動向』	¥660,000	6/25	$6,000	8/24	日 英		
＊2021 年版[インクジェット印刷マーケット総覧]（377 頁） 『新たなイノベーション創出を目指す 産業用インクジェット業界の最新動向』	¥550,000	10/26	$5,000	12/10	日 英		
＊2021 年版[MFP マーケット総覧]（フルレポート） 『業界変革期を迎えた複合機・プリンタ市場の将来性分析』 総合分析編･PPC 市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥660,000 各¥385,000	12/22	― ―	―			
《２０２０年刊行物》							
＊2020 年版[感光体マーケット総覧]（292 頁） 『新たな中国市場戦略が求められる感光体業界のゆくえ』	¥550,000	2/26	$5,200	4/17	日 英		
＊2020 年版緊急レポート（コロナショックと業界大規模再編） 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の 地域別メーカー別分析』（240 頁）	¥330,000	4/24	$3,000	6/19	日 英		
＊2020 年版[ローラー系部品マーケット総覧]（651 頁） 『要素技術で生き残る部品業界の行方』	¥440,000	5/26	$4,000	11/25	日 英		
＊2020 年版[トナーマーケット総覧]（582 頁） 『事務機の中核を占めるトナー事業の将来性』	¥660,000	7/28	$6,000	10/23	日 英		
（新レポート）＊2020 年版[MIF マーケット総覧]（501 頁） 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥440,000	9/28	$4,000	12/23	日 英		
＊2020 年版[インクジェット印刷マーケット総覧]（366 頁） 『ポストコロナ時代に市場拡大が期待される 産業用インクジェット業界の最新動向』	¥550,000	11/26	$5,000	2021.2/26	日 英		
＊2020 年版[MFP マーケット総覧]（ﾌﾙﾚﾎﾟｰﾄ）（626 頁） 『新日常社会へ挑戦する事務機業界の底力』 総合分析編･PPC 市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥660,000 各¥385,000	12/23	― ―	―			
《その他の刊行物》							
＊2014 年版[企業便覧シリーズ]（128 頁） 『中国の機能性部品ローカル企業 100 社便覧』	¥165,000	2014 年 9/29	$1,500	2014 年 10/31	日 英		
＊2013 年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810 頁)、写真データ(535 頁) 『インドにおける 500 社の複写機・LBP 等の写真付ユーザー実態調査』	¥880,000	2013 年 9/25	―	―			